



## みどりの 女神が行く!

ミス日本みどりの女神  
こばやし ゆうき  
小林 優希

### 座学・実技を学べるチェーンソー 講習に参加

ついに、伐木等の業務特別教育講習を受け、チェーンソーを正しく使えるようになりました！6月1日と2日に神奈川県自然環境保全センターで行われた講習会には、私のようなチェーンソー初心者から、何十年も林業に携わっているプロの方まで、様々なレベルの方が集まりました。2日間で、チェーンソーの取り扱い方や注意点などの座学から、実際にチェーンソーで木を伐る実技までみっち



▲小さな刃の一つ一つを丁寧に研ぎます

りと学んだのです。チェーンソーを動かすのは、この講習会が初めて。座学の時間にチェーンソーの危険性や過去の事故について沢山学んだため、いざ動かすとなると「事故を起ささないだろうか」「ちゃんと出来るのか」と不安でいっぱいでした。

装備をしっかりとし身につけていざ挑戦。レバーを引いてエンジンをつけるチェーンソーですが、なかなかエンジンがかかず、悪戦苦闘しました。どうやらエンジンをつけるには勢いよくレバーを引く必要があるようですが、女性にはその動きが難しいのだそうです。なんとか稼働させると、あとはスイスイと木を伐ることが出来ました。そうして、木材製

造業労働災害防止協会から労働安全衛生特別教育修了証をいただき、晴れて林業従事者の端くれになることが出来たのです！

### 自然と人工が共存する小網代の森

また先日は、神奈川県・三浦半島にある小網代の森に行きました。小網代の森は、現在私が通っている慶應義塾大学の名誉教授である岸由二先生らが、長い年月をかけて保全活動を進めている森です。約70haの森の中で、あらゆる生態系を見ることが出来ました。

そんな自然で溢れた小網代の森ですが、その自然が人工のものであるという



▲人の手で作られた森「小網代の森」にて

ことにとても驚きました。様々な生態系を維持していくために、岸先生を始めとした、小網代の森の保全活動に尽力されていらっしゃる方々が、手を加えていく日が照る乾燥地でも成長するような植物だけが増殖することがないように、川の流れを変えて水分を多く含む土地を作り、そこをあえて木陰にするのだとか。「人工なのに自然、自然なのに人工」という不思議な場所でした。

他にも今月は、有明アリーナで行われた復興祈念植樹や、オンライン開催された「林業復活・地方創生を推進する国民会議」で司会を務めるなどの活動がありました。林業や木の活用に見識のある方々のお話を多方面で伺う機会をいただけることをとても嬉しく思っております。

最後に、NHKの連続テレビ小説『おかえりモネ』の放送が始まり1ヶ月が経ちました。第5週目の放送では、森林組合で働くヒロイン・百音が、小学校の机に地元の楮材を使用しようと尽力する姿が印象的でした。森林組合の方々が日々どのようなことを思い、働いていらっしゃるのかドラマを通して全国に伝わることを願っています！